

# 衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (新年号)



## ◆ 2011 年「堅忍不拔」の意志を掲げて

卯年がスタートし、年始のご挨拶も一通り落ち着く頃かと思いますが、寒さが厳しい時期でもあります。皆様には体調管理にもご留意され、健康第一の健やかな一年をお送りいただければとお祈り致します。

さて、現下のデフレ経済への対策は昨年補正予算等による緊急対応等により幾分安堵感が出てきているものの、景気の底あげを図るためにはまもなく始まる通常国会での予算審議を速やかに行い、多方面にわたる手厚い経済・雇用対策等を示すことが最も重要となります。



泡瀬復興期成会新年祝賀会



沖縄県建設業協会新春の集い

さらに、我が沖縄県では平成 23 年度末に期限を迎える振興特措法に変わる新たな振興計画を早急に策定構築しなければなりません。まさに今年は将来へ向けての壮大な計画を実行する為の基盤づくりが、あらゆる分野に求められてまいります。皆様の声にしっかり耳と心を傾け、迅速な行動と共に、地に足をつけた確実な熟慮熟議を重ねて「県民の生活が第一」の政策実現を目指して参ります。昨年に増して本年もご意見ご指導を賜りますよう宜しくお願いいたします。

(玉城デニー 談)

## ◆ 「沖縄の港湾の現状と課題について」現地視察

東アジアの物流拠点としての沖縄の将来像を模索研究することを目的に、昨年瑞慶覧長敏議員と調査研究を続けている会の沖縄現地視察が、1月14・15の両日行われた。これまで3回に渡る研究と分析を踏まえ国土交通省、総合事務局および沖縄県庁関係部局、港湾管理組合などの関係者が同行し、ANA 貨物ターミナル、那覇沈埋トンネル、那覇・浦添港湾関連施設、中城湾港、泡瀬地区や比屋根湿地などを現地視察した。



那覇港クレーン現場視察

さらに、那覇・中城の港湾地区利用関係企業数社と会談し「ガントリークレーンの増設」「ストックヤードの確保」「外貨コンテナへの積み出し品開発」「戦略的な輸送コスト軽減対策」など、流通の現況と将来展望および今後必要なインフラ整備などの要請を含めたさまざまな角度からの意見交換を行った。今後もさらに調査研究を継続し4月頃を目途に報告書としてまとめ、空と港の戦略的な港湾政策で沖縄の地理的優位性を発揮し、東アジアへの流通ハブ拠点としての位置づけを国へ求めて行くために、次年度に向けて策定される新しい振興計画へ提言することを確認した。

(研究会スタッフ)



中城湾港全域視察

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって、実り多き一年となりますよう、スタッフ一同お祈り致します。今年も、玉城デニーの県内・外の活動を皆様にお伝えしていくために FAX ニュースを送信していきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

玉城デニー事務所スタッフ一同

配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願いいたします。  
平成 23 年 1 月 18 日発行：民主党沖縄県第 3 区総支部（玉城デニー事務所）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005